

## 第24回 協働のまちづくり推進特別委員会記録

令和6年2月8日（木）

開議 13時 16分

閉議 14時 02分

第2委員会室

【委員】 西田委員長、~~上野副委員長~~

村木委員、村武委員、柳楽委員、岡本委員、芦谷委員、川神委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 小寺書記

---

### 議 題

1 提言内容の決定について

(1) 修正内容確認

(2) 提言書に係るスケジュール確認

(3) その他

2 地区まちづくり推進委員会設立準備会との意見交換について

(1) 意見聴取シート集計確認

(2) 実施方法協議

(3) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 13 時 16 分 開議 ]

○西田委員長

ただいまから第24回協働のまちづくり推進特別委員会を始める。上野副委員長が欠席である。今日は修正した提言内容について皆に確認いただきたいのと、地区まちづくり推進委員会の設立準備会の方々との意見交換について、皆の意向を伺いたい。

1 提言内容の決定について

(1) 修正内容確認

○西田委員長

提言書に目を通して確認されたことと思うが、気づかれた点があれば直していきたい。事務局から何かあるか。

○小寺書記

事前に確認いただいていると思うので、この内容で良ければ議長へ提出し、市長へも提出する段取りになると思う。

1点、6ページ7ページのところで、令和4年、令和5年になっているのだが、令和6年を入れてなかったのでここは修正する。

○西田委員長

この提言について、お気づきの点があれば発言をお願いします。

( 「なし」という声あり )

ではこの議題については以上で良いか。

(2) 提言書に係るスケジュール確認

○西田委員長

事務局からお願いします。

○小寺書記

今確認いただいた内容で提言を行う。議長に提出し、そのまま市長に提出する流れになる。6日に委員会を開催し、それが終わってから議長に提出する予定だったが、改めて議長と日程調整させてもらい、正副委員長から議長へ提出という形にしたい。

市長への提出については、すでに日程を調整しており2月16日金曜日の午後1時30分からと事前にお知らせしている。そちらは正副委員長と出席していただける委員ということで段取りをしているので、よろしくをお願いします。

○西田委員長

議長が帰られてから提言内容を確認いただき、2月16日には市長へ提出するスケジュールになる。この流れで特に問題ないか。

( 「はい」という声あり )

では、このようなスケジュールでいかせていただく。

### (3) その他

#### ○西田委員長

何か、提言内容全体についてあるか。

#### ○村木委員

私自身は特別委員会が初めてだったが、これを提言して解散になるのかと思う。この提言の追い掛けはするのか、しないのか。あとは個人一般質問等で追及するのか。

#### ○西田委員長

当然、個人では一般質問等でやっていただきたいが、特別委員会としては終わり。

#### ○村木委員

総務文教委員会で引き継ぐといったこともないのか。

#### ○小寺書記

執行部もその辺を気にしておられると思っている。基本的に特別委員会がなくなったら所管は総務文教委員会に戻ることになるので、その後の進捗報告などは総務文教委員会にさせていただくことになるのではないかと考えている。

#### ○川神委員

だから基本的にはなくなるわけではなく、総務文教委員会が一つの窓口になるので、何らかのステージを目指すのに何か起こさなければいけないときには総務文教委員会からほかの委員会へ振るなり、新たな提言として例えば議員間討議をするなど。この問題は全体で関わらなければいけないものなので、とりあえずは総務文教委員会にという認識でいけば良いのでは。

#### ○芦谷委員

今まで各委員会で提言している。中山間地域振興特別委員会もどちらかと言えば提言しっ放しで、あれはやはり議会の総意としてやっていかなければいけない気がしている。議会運営委員会の委員長もおられるので、こういった提言などがあつた後をどうするのかを、ある程度議会内部で腹合わせをしたほうが良い。提言ありきでやってしまい、後のことはどうもはっきりしない。大事な問題なのでぜひ検討してほしい。

#### ○西田委員長

過去に色々な提言をされているが、検証的な動きは特別なかった。個々の議員の動きにはあつたが。今回の提言の後もしっ放しではなく、その後の追跡もしていけないといけない。

#### ○小寺書記

常任委員会の場合は委員改選があつたとしても、それまでの提言を踏まえて委員会活動を行っていただけかと思う。ただ特別委員会に関しては、調査目的が達成されたとなると解散という流れがあるので、この部分は芦谷委員が言われるように、何かしらの整理があつても良いかと思っている。先ほども申したとおり、基本的には所管が戻るなのでその委員会でということになると考えている。

#### ○岡本委員

施政方針の中に、協働のまちづくりの対応について書かれている。これからの浜田市社会教育の会で出された意見書も踏まえて、評価検証の取りまとめが行われている。今後取りまとめた結果の報告を受け、市の方向性を検討する。その検討の時点がどこまでかというのがある。もし早い段階ならまだこの中は残っていても良いかと思うし、まだ先の話となると総務文教委員会へ申し送りなどしたら良いかと思う。

○西田委員長

施政方針の中にも協働のまちづくりという言葉が何度も出てきている。市と議会と、お互いが良い議論や意見交換をしながら進めていかないといけない。たまたま当委員会には総務文教委員が4人いる。その辺は意識しながら今後やらないといけない。議題1については以上で良いか。

( 「はい」という声あり )

## 2 地区まちづくり推進委員会設立準備会との意見交換について

### (1) 意見聴取シート集計確認

○西田委員長

事務局から願います。

○小寺書記

発信した資料は事前にも送っている。意見聴取シートを各6団体に郵送し、回収は岡本委員と布施議員にお願いし、回収したものを集計表にしたものである。内容は確認してもらっていると思うが、皆で協議する点があるかどうか確認していただきたい。

また、赤字部分についてだが、活動内容について結構悩んでおられるような様子が見受けられ、アドバイスが欲しいと言われている団体が多い。また後ほど意見交換のところにも関わるのだが、意見交換を希望されるところもアドバイスが欲しいという意見があるので、その辺については今まで皆が特別委員会で調査したことや、各地域でまちづくり活動をされている中での優良事例などを披露していただけるような意見交換になれば良いと思う。

○西田委員長

意見交換の日程的なものが決まっている。出席できる委員を調整したい。

○小寺書記

それは(2)でやってもらえれば。(1)は中身を見てもらった上で何か意見があれば。なければ良い。

○西田委員長

(1)は、良いか。

( 「はい」という声あり )

### (2) 実施方法協議

○西田委員長

実施方法について皆と協議したい。事務局からどうぞ。

## ○小寺書記

今発信した資料が、意見交換会の実施方法案である。相手方については議会との意見交換を希望すると回答があった3団体を上げている。基本的には各団体に1枚出してもらうものを想定していたのだが、複数の方が回答され、お一人は意見交換を希望するに丸をされていて、残り4人の方は希望されないとなっていたが、代表者に確認したところ、そういう声があるならぜひやってみたいとのことだったので、希望されるということで3団体上げている。

日程についてだが、もともと想定していたとおり各団体が毎月定例集会を開催し、設立に向けた協議をされているので、その集まりがある日に対してこちらから出向いていくやり方でどうかと思っている。大辻と元浜と黒川になるが、大辻は本日2月8日木曜日、時間は改めて伝える。元浜が2月21日水曜日。黒川は13日に集まりがあるが、13日は協議内容がたくさんあるため、27日でお願いできないかと言われている。13日にほかの皆にも、こういう話があるがどうかということは確認いただき、27日をどうするか、もしかしたらやらない可能性もあるかもしれないのだが、希望の有無はその集まりの中で確認いただき、やるなら27日に実施する調整をしている。

会場は各団体が集会を毎月開催されているところにこちらから出向く想定である。1番の括弧書きは相手方の大体の出席者数なので、その半数か、2人から4人までの人数で議員が伺えれば良いと思っている。どういった意見があったか、出席した委員がどのような回答をしたか、どのようなことを話したか、報告をお願いしたい。

地区まちづくり推進委員会との意見交換会と同様に、事務局職員の出席は今のところ想定してない。大辻・元浜については、もともと用意のある協議議題があるので、そちらを先にやり、その後にメンバーが変わる形で議会との意見交換会をする形を想定している。したがって時間については代表者と確認して、改めてお知らせする形にはなるのではないかとと思っている。

3団体に対してどなたが出席可能か、調整いただければと思う。

## ○西田委員長

さしあたり本日、大辻では準備会が行われるそうで。時間は夜の時間帯なのではっきりはしない。先にもともとの議題を協議されて、それが終わってから。

## ○岡本委員

大辻・元浜については私も少し関わりがある。この2町内、またほかの町内もそうだが、単独町内がある。単独町内の総会に向けて今進められている。その総会を進められると同時に、4月から新しい町内が変わっていくというご案内をされていて、それを総会内で発表し、4月から新たに全体が動いていくといった段階である。ということは今日の時点、大辻の場合は世帯数が少ないので、文書、確認書、その後に皆で意識するために4月以降はどういう活動でもっと広げようかというのが今日の話題だろう。

元浜は世帯数が多い。絡んでくるのが宮関係や盆踊りなどの事業があるので、その辺の協議が少しあるのだろう。ただ、言われるように意見交換を求めておられるの

で、その時間は取れるだろう。今日は3町内会長のうち一人が欠席で、民生委員が絡んで3人が出席。それと毎回コーディネーターが2、3人来てくれているのと、まちづくりセンターからも来ている。まちづくりセンターは意見交換の対象になるかどうか分からないが、少しいてもらいたい気持ちはある。私は今日は1時間ほど出席したら退席しないといけないので、もし追加の意見が出たら聞いておいていただきたい。

○西田委員長

大体の時間は。

○岡本委員

6時から始まって、おおむね1時間半くらいで話を終えようということである。

○小寺書記

大辻には先ほど確認したところ、おおむね1時間くらいで終わることにして、我々との意見交換は午後7時からできればどうかという調整をしている。

○西田委員長

はい。行ける方を決めておこうか。

( 以下、調整 )

では、大辻は私と岡本委員。元浜は村木委員、村武委員、芦谷委員。黒川開催の場合は柳楽委員、岡本委員、川神委員。時間は改めて連絡する。よろしく願います。

○村木委員

場所は。

○岡本委員

大辻・元浜は浜田まちづくりセンター以外に場所がないのでそこでやっている。それも問題である。

○小寺書記

黒川は石見まちづくりセンター。

○村木委員

括弧書きの人数は出席者か。

○小寺書記

マックス人数で、そこから欠席があるかもしれない。

○村木委員

来るのは町内会長か。

○岡本委員

そういうことである。これに加えて民生委員が入る。

○芦谷委員

皆で腹合わせをしておきたいのが、これは先方から来てくれと言われたのか。

○岡本委員

もともと我々委員会で意見聴取した際に、やってなかったのがここなので、どうしようかとなり、実態が知りたいのでアンケートを出すことになった。その項目の中に、意見交換を求めるかという項目があり、今の話になっている。

○芦谷委員

ほかに出るのはまちづくりコーディネーターとまちづくりセンターと、市役所は来られるのか。

○岡本委員

来る。

○芦谷委員

常々思うが、地区まちづくり推進委員会の進め方の問題なので、執行部がいてもらわないと困る。また、議員としてこの辺の提言をしている。これらを含めてどういった態度で臨めば良いのか。聞いて答えてを盛んにやるのか、聞くだけなのか、簡単なアドバイスするだけなのか。なかなか難しい。

○岡本委員

元浜・大辻町内は、議員に対してどうこう言うことはない。ただ、よそから来られるなら、よそはどうされているのか聞いてみたいというレベル。よその情報を多少入れてはいるが、それを中心にしてやっているわけではないので、こちらはこちらでやっている。しかしよそはどうなのか議員を通して聞きたいということだろう。

○芦谷委員

得てして市役所へのお願いや、市役所との関わり、市役所の支援といったことがあるので、執行部が同席してもらえれば良い。

○岡本委員

そういうことはないと思う。ただ、黒川は分からない。

○西田委員長

基本的には地区まちづくり推進委員会の設立準備、立ち上げに関わることでの意見交換なので。

○小寺書記

執行部やコーディネーターのことだが、確認している中で、いないほうが話しやすいのかどうかと聞かれている。議会と住民が話をする際、コーディネーターや執行部はいないほうが良いのではないかと聞かれているがどうか。

○岡本委員

それはどこからか。

○小寺書記

コーディネーターと担当部署の両方から。住民と議会同士で話をする場なので。

○西田委員長

それはあるが。

○岡本委員

我々議会がコーディネーターを評価している部分があるから、そういう話も実際言いづらいところもあるのではないかと、だからいないほうが良いのではないかとというスタンスだろうと思う。

○芦谷委員

私はむしろ、まちづくりセンターもコーディネーターもその荷物を持っているのだから、自分のこととして胸襟を開いて話をするような雰囲気やらないと。自分たちがいたのでは発言しにくいだろうからと、あまり配慮する必要ないと思う。

**○岡本委員**

実際はそのような状態ではない。まちづくりセンターもなければいけない。チラシなどはまちづくりセンターが作ってくれている。対応策はコーディネーターが作ってくれて協議を進めているから、いないとむしろ困る。例えば町内にどう示そうか、回覧だけで良いだろうかという話になると、回覧だけでは来ないかもしれないから各戸配付にしてほしいとか、設立になった際にはコーディネーターも来てほしいとか、そういう話はすでに出ているのだから。立場的に皆は協力体制になっているので、そのような心配はないと思うが。黒川も多分職員が行っているはずである。

**○村木委員**

当日19時からがらっと雰囲気が変わるなら、進行はこちらですか。

**○岡本委員**

今日の会合は私が進行している。併せて委員長が来ているので、これも少し意見交換しながらやろうと、全部含んでやってしまおうかと思っている。

**○村木委員**

問題提起は。

**○岡本委員**

問題提起はもともとアンケートがあるから、この特別委員会との意見交換を求められたが、このことについてこういう意見があり、これについてどうだろうかという確認のスタートだと思う。

**○西田委員長**

意見聴取した項目があるので、その内容で。

**○岡本委員**

大辻は私が司会進行だが、元浜や港町には委員長がおられる。それが進行される。

**○村木委員**

その方が進行するの。

**○岡本委員**

その方が進行する形が良いと思う。

**○村木委員**

防災が入り口だと書いてあったので、興味があるのは間違いないのだが、進行か何かしないといけないかと思ったので。

**○小寺書記**

向こうが希望されているがこちらから出向くので、何かしらこちらでどういったことを聞きたいかは当然持っていくべきだと思うし、それに基づいた進行が必要になるのではないかと考えている。目的にも書いているが、意見聴取シートで聞いている困り事やどのような支援がこれから必要かといった意見をもらっているから、そこを

深掘りしていくことになるのではないかと、ということが一つ。また、ほかの事例紹介、ほかの団体がどういったことを取り組んでおられるか、自分たちの参考に何かできないかということをおっしゃるので、その辺を披露・共有していただく。以上大きく2点あるのではないかとと思うので、そのような進行をしていただきたい。

○西田委員長

臨機応変に。限られた人数の中でされるので、肩の力を抜いてやってもらいたい。事例紹介となれば、コーディネーターは結構詳しく知っておられるのでは。おられたほうが良いのか悪いのか分からないが。

○小寺書記

意見交換の対象を、住民だけとするのか、コーディネーターやまちづくりセンターや市職員も一緒にぜひ一緒にいてくれとこちらからお願いするのか。

○西田委員長

7時までにはコーディネーターもまちづくりセンターの方もおられていて、意見交換に移る段階でお引き取りをということになるのか。

○小寺書記

場面転換という想定はしていると思われる。

○西田委員長

その辺はどうか。

○岡本委員

今日は皆に投げ掛けようと思っている。

○西田委員長

それはそれで良いと思う。

○岡本委員

人が少ないので、極端なことはない。

○芦谷委員

皆に共有するのが大事である。全員参加するというスタンスをしないと。この場合はしてもらわないほうが良いといったことを考える必要ないと思う。

○岡本委員

しかし一応はそういう話が出たのだから。

○芦谷委員

コーディネーターやまちづくりセンターからだろう。

○村武委員

今はもう設立しているところのヒアリングがあったときには、コーディネーターや市の職員がおられない中で、コーディネーターや市の職員にやってほしいことに関する意見が出たと思う。もしそうならおられないほうが話しやすいのかもしれない。

○岡本委員

まず対象を絞って考えたら、今日はおられたほうが良い。

○村武委員

地区まちづくり推進委員会の方々が、おられて良いというのであれば同席したほうが良い。

○岡本委員

だからそういう投げ掛けをする。市職員を色々批判しているのは黒川だったから大辻は問題ない。

○村武委員

事前確認していただくか、そのときに。

○岡本委員

そのときに確認で良いと思う。

○西田委員長

では皆そのときに確認して、良い雰囲気でもらったら良いと思う。柔軟にお願いします。

○岡本委員

元浜は今日投げ掛けしておく。

○小寺書記

報告についてはどなたが行うか。委員派遣をするので、委員派遣報告書を書くことになる。どういった活動を行ったか、報告いただきたい。

○西田委員長

録音などはしなくて良いのか。

○村木委員

お任せだと思う。

○西田委員長

記録係をどうしようか。

○岡本委員

今日は申し訳ないが委員長にやってもらいたい。次については来られる人次第で。

○村木委員

記録する。最初のあいさつは要るだろうか。

○芦谷委員

いらないだろう。

○村武委員

私が進行するので、先輩にあいさつしてもらえたら。

○芦谷委員

そういうことはせずに、自己紹介とよろしくだけで良い。

○小寺書記

黒川はどうされるか。

○西田委員長

黒川は、川神委員、柳楽委員、岡本委員。

○柳楽委員

報告をやる。

○小寺書記

提言に反映できるわけではないということをご理解いただき、こういう思いがあるのだといったことを言われるかもしれないが、返し方としては、特別委員会としてはこういう提言にしている、日時にもよるが市長に出すというのが答えになるのではと思う。提言に反映させるということとは言えない。あえてそこは言わなくても良いかもしれないが、そういったつもりで臨んでいただければと思う。

○西田委員長

提言の中身は言っているのか。

○小寺書記

物を持っていくかどうかはまた別だが、そういう想定はしてない。

○西田委員長

提言の中身にはこういったことも含まれているくらいは言っても良い。

ここまでは以上で良いか。

( 「はい」という声あり )

(3) その他

○西田委員長

その他で何かあるか。全体を通じて質問等があれば。

( 「なし」という声あり )

なければ、事務局。

○小寺書記

次の委員会についてだが、もともとLINE WORKSで話しているとおり、2月20日の週くらいだと思ってはいたが、20、21日は福祉環境委員会が行政視察なので、2月22日を想定している。午前中は土地開発公社関係で岡本委員がそちらに出席するので、午後のどこかにと思っているが、ご都合はいかがか。

○川神委員

内容は何をやるのか。

○小寺書記

最後の特別委員会にしようと思っているので、委員長に締めてもらうのと、はまだ議会だよりに特別委員会として市民に対するメッセージを5月1日号で載せることにしているので、何を伝えたいか協議していただきたい。また、浜っ子タイムズについても4月に放映予定なので、何を伝えたいか。似通ってくると思うので同時に協議ができればと思う。どういったことを市民へ伝えるかを確認しておきたい。

( 以下、日程調整 )

2月22日の午後1時45分からということで準備をよろしく願います。

○小寺書記

ではまた改めて、メールなどで様式をお送りしようと思う。どういったことを訴

えたいかを返信いただければと思う。

**○西田委員長**

ではほかに、全体で何かあるか。

( 「なし」という声あり )

では、以上で第24回協働のまちづくり推進特別委員会を終了する。

[ 14 時 02 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

協働のまちづくり推進特別委員会委員長 西 田 清 久